

# にしわが 福祉だより

編集・発行：社会福祉法人 西和賀町社会福祉協議会

〒029-5614 西和賀町沢内字太田1-30

TEL 0197-85-3225 FAX 0197-85-3234

E-MAIL info@nishi-shakyo.net

HOMEPAGE <https://nishi-shakyo.net/>

福祉だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

No.84 2023.9.15



じぶんの町を  
良くするしくみ。



## 10/1 スタート



10月1日▶12月31日

### 赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。

10月1日から12月31日まで全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が展開されます。町民の皆さんのご理解とご協力をいただき、各ご家庭をはじめ企業、職場、学校等に協力を呼びかけます。

この募金は、令和6年度に社会福祉協議会等が実施するボランティア育成事業や福祉のまちづくり事業などの地域福祉活動、高齢者・障がい者・児童・母子福祉事業などの財源を確保する目的として行なわれております。

## 今年度の目標額 1,830,000円

### 目標額の内訳

戸別募金	900,000円
法人募金	680,000円
学校募金	60,000円
職域募金	50,000円
街頭募金	40,000円
イベント募金	30,000円
その他募金	70,000円

### 「共同募金は計画募金」

共同募金運動には、毎年目標額が設定されています。

それは運動を実施する前（令和4年度）に配分希望事業を伺い、その事業を実施する目安として、今年度の目標額が設定されます。

今年度の実績に応じ次年度事業費として交付されることから、計画募金と言われているものです。

## 集めた募金は、集めた地域で使われます

集まった募金の約70%は、町内の事業に使われています。残りの30%は、みなさんの住んでいる市町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に岩手県内で使われています。

例えば、大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積立は、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、災害地を応援するために使われています。

**○募金方法** 募金方法は、戸別・法人・職域・店頭・イベント募金などがあります。

<b>戸別募金</b>	各地区を通して、各戸に募金協力をお願いする募金です。
<b>法人募金</b>	町内事業所にご協力をお願いする募金です。
<b>学校募金</b>	町内の小・中・高等学校に依頼し、児童生徒の皆さんからご協力頂く募金です。
<b>職域募金</b>	町内企業等の職員の皆様にご協力をお願いする募金です。
<b>街頭募金</b>	運動初日に募金箱を設置し、活動をPRする募金です。
<b>店頭募金</b>	町内の店舗に募金箱を設置させて頂く募金です。
<b>その他募金</b>	福祉まつりなど町内イベント時に募金箱を設置させて頂く募金です。

**○配分予定事業**



赤い羽根共同募金は、町内で協力頂いた募金を活用し、様々な事業に活用させていただいています。その一部を紹介します。

### 子育てサロンの開催



子育て真っ最中の方たちの仲間づくりや、息抜きの場になっています。

### 福祉大会



昨年の福祉大会では、落語家「桂ひなたろう」さんをお招きし、成年後見落語を拝聴しました。

### 福祉まつり



昨年は3年ぶりに展示部門に加え、ステージ発表、模擬店など開催され、賑わいが回復したイベントとなりました。

# 盛夏! ボランティア

## ボラ連総会・研修会

7月5日(水)、町内のボランティア団体等27名が参加し西和賀町ボランティア連絡協議会総会及び研修会が実施されました。

総会では、昨年度の活動報告や今年度の事業計画について話し合い、その後「傾聴ボランティアを知って下さい ～傾聴を体験しよう」と題し、傾聴ボランティアきたかみ 清水上裕氏を講師にお迎えし研修会が開催されました。

昨年度の研修会でも講演いただき、反響も大きく実践編として開催いたしました。

傾聴の基本的な心構えを確認したあとに、二人一組（話し手・聴き手）となって実践を行いました。参加者からは、つい自分の話をしそうになってしまうなど傾聴の難しさを感じていた様子でした。



△ 傾聴? けっこう難しい

## 桜ライン311

西和賀町ボランティア連絡協議会では、8月29日(火) 桜ライン311の草刈りボランティアへ参加しました。町内のボランティア、社協職員併せて16名が参加し汗を流しました。

その後、職員より震災当時のお話や植樹のスタート地点を案内いただきました。いっどこで災害が起こってもおかしくないため、防災意識について改めて考えさせられた研修となりました。

### 桜ライン311とは

陸前高田市にあるNPO団体で、津波の到達地点に桜の木を植えて、この先津波がきたときにその地点より上に逃げるができるようにと後世へ伝える取り組みを行っている団体です。



△ あのラインまで津波が



△ 鎌を使って草取り

## 五城目町災害ボランティア

7月中旬に発生した大雨により大きな被害を受けた秋田県五城目町にて、8月3日(木) ボランティア活動を行いました。

消防団員等町民、社協職員併せて12名が参加し、10時から15時まで、3件の被災住宅を訪問し、泥出しや清掃を行いました。



△ 塵取りを使い少しずつ



△ 床下の作業は大変

被災から2週間以上たったものの、泥が乾いておらず水分を多く含んでおり、床下に潜ってちりとりなどを使用して泥のかき出し作業を行いました。

ご協力いただいた皆様、暑い中の作業本当にありがとうございました。



## 学童クラブで 消防訓練・食事会

8月上旬湯田・沢内両学童クラブでは消防訓練並びにJ A女性部などの協力を得ながら食事会が行われました。

消防訓練では、避難、通報、消火訓練などが行われ防災意識を高めていました。食事会は夏休み期間中5回行われ、交流を深めたほか、現在各地で実施されている子ども食堂の開設などの期待も高まりました。



△ 食事もみんなで作ります



△ 子供たちによる消火訓練

## まちなかカフェ 開催されました

まちなかカフェは、認知症や介護に関心のある地域住民の方々が気軽に集える場所づくりを目指して、8月10日(木) 銀河ホールで開催されました。会場では「笹の木」の真嶋さんをアドバイザーに迎え、介護の相談などに応じました。また、ケアマネージャーさんも参加し、楽しい会話など交えながらひと時を過ごしました。

# 福祉団体活躍しています

## いきいきシニア 交流スポーツ大会



△ 玉入れは西和賀チームの十八番?

七月四日(火) 四年ぶりに青空の下、北上地区のシニアスポーツ大会が開催されました。今回は競技ごとの顕彰として、総合評価は行いませんでした。競技種目は五〇M、一〇〇M徒競走の他、ボール運びリレー、ゲートボールリレー、玉入れ、四〇〇Mリレーと、各種目に熱戦が繰り広げられました。西和賀町からの参加選手五十七名を、二チームに分けての競技となりましたが、それぞれ個人種目、団体種目でも好成績を残していました。スポーツを通しお互いの交流を深めながら、気持ちよい汗をかきました。

## あやめ公園奉仕活動



△ 今年の夏は雑草も多いです

西和賀町老人クラブ連合会では、七月七日(金) あやめ公園の草取りボランティアを行いました。昨年までは二日間の日程で行っていましたが、一日のみの開催となりました。六十名の会員が湯田・沢内の地域を超えて交流しながら奉仕活動を行いました。

## 沢内中学生が伝承活動



△ けっこう難しいなあ～

七月六日(木) 老人クラブ連合会では、沢内中学校で、蔓細工の伝承活動を行いました。指導者七名、生徒十三名が交流しながら鍋敷きを作成しました。



## 身障協研修旅行



△ 船の上でゆっくり

西和賀町身体障がい者協会では年に一度会員の交流も兼ねて研修旅行を実施しています。今年の訪問地は、東山げいび溪舟下り、そして奥州市正法寺参拝を行いました。

炎天下での研修となりましたが、舟に乗り小魚のしぶきに涼しさを感じ、正法寺では日本一のかやぶき屋根に驚嘆し、また、突然の訪問にも関わらず、雲水による丁寧な説明に笑い、そして聞き入っている様子でした。

△ 惣門の前で はい、チーズ

# 福祉まつり開催のお知らせ

今年度の福祉まつりは「銀河ホール」と「悠々館」を会場に  
9月30日(土)、10月1日(日)の2日間開催することになりました。

9月30日(土) 10:00～16:00

★作品・活動報告展示 会場：悠々館

町内小学校・中学校・高等学校・町内保育園・保育所、  
福祉団体（老連・母子協・身障協・婦人会）、福祉施設、  
人権擁護委員、行政相談員 等



10月1日(日) 10:00～14:00

★作品・活動報告展示 会場：悠々館

★ステージ発表 会場：銀河ホール

川尻保育園・川舟保育所・山の音楽隊・みかぐら子ども隊  
湯本鬼剣舞・湯田子供太鼓・スコップ三味線

★模擬店も出店します 会場：銀河ホール

ぜひ、ご来場ください。詳細は、全戸配布のチラシをご覧ください！

(この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を得て実施します。)